2011-2026年の議会質問年表

2011
- ■議員報酬半減可決
  総務環境委員長として本会議場にて委員長報告
- ■マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2011について（P.10）
  第1回目からおもてなし沿道応援隊に関わっています

2012
- ■名古屋市旧町名の復活事業の推進について（P.7-②）
- ■小中学校の空き教室の有効活用について（P.2-⑤）
- ■マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2012について（P.10）
- ■御器所駅や周辺を車椅子で移動するときの
  所要時間等を調査

2013
- ■産後ケア事業について（P.2-⑥）
- ■外国人観光客誘致について
- ■マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2013について（P.10）

2014
- ■『観光立国名古屋』ー昇竜道プロジェクトの推進ー（P.8-③）
- ■ミラノ万博への参加について
- ■マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知について（P.10）
- ■聴覚障害者福祉について（P.9-①）
- ■「地下鉄御器所駅2番出入口にエレベーターを設置すること
  を求める請願」を提出

2015
- ■外航クルーズ船の誘致促進について
- ■無人航空機の研究開発について（P.6-⑥）
- ■職員のモチベーションの向上を図るための
  庁内公募制度の活用について
- ■土木交通委員会にて名古屋市営地下鉄駅のエレベー
  ター設置について質問
- ■民泊の活用について
- ■名古屋城天守閣木造復元について（P.7-①）

2016
- ■産業都市名古屋をさらに高みに導くための方策について
- ■法人市民税5%減税の組みかえについて
- ■なごやっ子の応援と夢実現に向けた
  取り組みについて（P.1-①）
- ■「名古屋城デスティネーションイヤー」の
  取り組みについて（P.8-④）
- ■ドローン研究開発に関する企業への支援について（P.5-③）
- ■児童生徒のオリンピック・パラリンピック競技大会への
  参加について（P.1-②）
- ■超高齢社会における成年後見制度の活用について
- ■公立保育所における紙おむつの処分について（P.3-⑨）
- ■保育所等利用待機児童解消に向けた
  取り組みについて（P.2-⑦）
- ■御器所駅2番出入口へのエレベーター設置が決定

2017
- ■手軽なクレジットカード決済による
  寄附の促進について（P.6-⑤）
- ■地下鉄駅への宅配受け取りロッカー設置の
  可能性について（P.5-①）
- ■本市における女性の活躍促進について（P.9-①）

2018
- ■男性職員における育児休業等の取得について（P.4-③）
- ■公共施設への宅配受取ロッカーの普及・拡大について
- ■粗大ごみ収集の申込みにおけるインターネットの利用促進
  及び新たな受付システムについて

2019
- ■インバウンド施策におけるフードダイバーシティへの
  対応について（P.8-⑤）
- ■eスポーツを活用した観光施策の推進について（P.6-④）

2020
- ■本市の業務・政策へのドローンの活用について
- ■事業者向け防災意識の向上策について
- ■本市の災害時におけるドローンの活用について（P.5-②）

2021
- ■名古屋市職員採用試験への適性検査の導入について
- ■性格検査の導入について（P.4-②）
- ■コロナ禍における観光推進施策について

2022
- ■名古屋市職員の採用強化について（P.4-①）

2023
- ■公立保育所におけるおむつのサブスクについて（P.3-⑩）
- ■「みんなの冷蔵庫」を活用した取り組みについて（P.9-②）
- ■市立高等学校での昼食提供について（P.1-③）
- ■宅配ロッカーの設置について

2024
- ■公立保育所におけるおむつのサブスクモデル
  実施の提案について（P.3-⑪）
- ■公立保育所における子育て支援に役立つ
  おもちゃ・育児用品のサブスクについて
- ■ふるさと納税を利用した子育てに役立つおもちゃ・
  育児用品のサブスクを取り扱う地元企業の支援について
- ■名古屋市職員の採用試験における
  性格検査の導入について

2025
- ■「共育て」の推進に向けた取組みについて（P.2-⑧）
- ■「ドネーションガチャ」による新たな寄附の
  仕組みについて（P.8-⑥）
- ■御器所駅2番出入口にエレベーター設置が実現

2026



減税日本ナゴヤ

名古屋市会議員 昭和区選出

大村光子

大村光子事務所
〒466-0848 名古屋市昭和区長戸町5丁目46番地

市民の皆さまの声を、市政に届けます。
お気軽にご意見・ご相談をお寄せください。

TEL&FAX
052-848-7325
MAIL
ohmuramitsuko0423@gmail.com

公式サイト



名古屋市会議員 昭和区選出

大村光子

元気・GENKI・ゲンキ通信 特別号

16年の歩みと実績

2011年3月の初当選以来、名古屋市会議員として、市民の皆さまの声を市政へ届ける活動を続けてまいりました。本冊子では、議会での質問や提案を通じて取り組んできた内容を、16年間の活動実績としてまとめています。これからも、皆さまのお役に立てるよう、実直に活動を重ねてまいります。

大村光子プロフィール

昭和36年4月23日生まれ。愛知県岡崎市出身。ソニー幸田（株）を経て、リクルートグループでは23年間、企業経営の根幹でもある「人材採用&育成」に携わる。平成23年3月名古屋市会議員に初当選。「イキイキと働く社会、人を元気に！笑顔に！する」を信条に活動中。

- 好きな食べ物：肉
- 信条：WAKU WAKU!! 元気！諦めない！
- 大切にしていること：「有難う」と言える出会いと「有難う」の感謝の心
- 趣味：マラソン（自己ベスト：フルマラソン（初）4時間5分17秒）
  ソフトテニス（中学・高校）

実現

令和8年8月19日、御器所駅2番出入口のエレベーター設置が実現しました!!

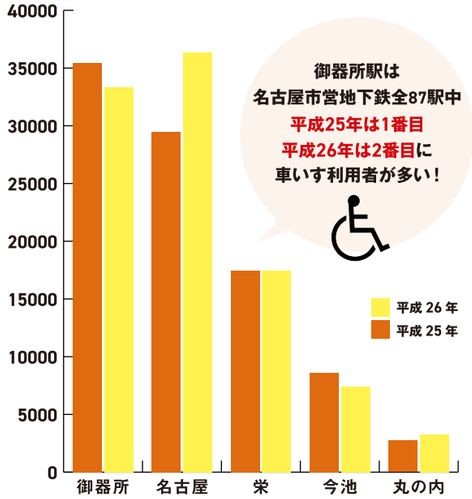
平成24年、御器所駅8番出口・2番出口から周辺施設まで、車いすで移動する際の所要時間や移動環境について独自に調査を行いました。その結果、「シルバー人材センター」「昭和生涯学習センター」「名古屋ライトハウス」「AJU自立の家」など、障がい者の皆様や高齢者の皆様の利用が多い施設が御器所駅周辺に集まっていることが分かりました。また、地下鉄の車いす利用状況を調査したところ、御器所駅は平成25年度に名古屋市営地下鉄全87駅の中で最も利用者数が多く（35,449人）、平成26年度も名古屋駅に次ぐ2番目（33,347人）でした。

こうした実態を背景に、平成25年の「地下鉄御器所駅2番出入口にエレベーターを設置することを求める請願」が提出されました。平成27年の土木交通委員会では、車いす利用者数や周辺福祉施設の状況を示し、御器所駅の優先的な整備を強く訴えました。

当時、交通局は改札内乗換ができない4駅（名古屋駅・丸の内駅・栄駅・今池駅）の整備を優先していましたが、私は利用者数や福祉施設の状況も重要な判断基準とすべきと主張。議会で繰り返し取り上げた結果、交通局からも御器所駅の整備の必要性が示されました。さらに平成28年の代表質問では、車いす利用者数など客観的指標に基づく整備方針の見直しを提案。当時の河村市長からも「車いす利用者が多い駅を優先的に整備することは常識的な考え方」との答弁をいただきました。

こうした継続的な取り組みの結果、平成30年5月11日に請願が採択され、御器所駅2番出入口へのエレベーター設置が決定。そして令和8年8月19日、ついにエレベーター設置が実現することとなりました。





子育て

子どもたちが健やかに育つ環境づくりを目指して

実現

01 2018年2月定例会

なごやっ子の夢を育む企画





未来ある子どもたちが夢を持ち努力していけるように、ノーベル賞を受賞された名古屋ゆかりの方などをお招きし、子どもたちに夢などを語っていただく機会を設けてはどうか、と個人質問にてご提案しました。当時の河村たかし市長からは「ぜひ実現させたい」と答弁をいただきました。その結果、ノーベル賞学者の天野浩（名古屋大教授）さんや、将棋の一大ブームの立役者「AI時代の申し子」藤井聡太六段が2018年3月24日に名古屋市で開催の「名古屋城こども王位戦」決勝戦にスペシャルゲストでご参加くださり、実現に至りました。

中日新聞
2018年3月24日

「こども王位戦」きょう決勝大会

藤井六段がゲスト

将棋の子ども棋士が腕を競う第一回名古屋城こども王位戦（名古屋市、中日新聞社など主催）の決勝大会が二十四日、名古屋城本丸御殿で開かれる。大会にゲスト参加する日本将棋連盟の佐藤康光会長（右）＝写真＝が二十三日、中日新聞社を訪れ大島宇一郎社長と懇談した。

こども王位戦は昨今の将棋ブームを受けて初めて開催。小中学生が対象で二月の予選大会を勝ち抜いた三十六人が決勝大会に進み、各学年の頂点を決める。

当日は最年少棋士の藤井聡太六段（14）＝愛知県瀬戸市＝もスペシャルゲストで登場。午後一時十五分から本丸御殿でプロ棋士や棋士の天野浩・名古屋大教授（左）らと共に子どもらにメッセージを送り、優勝者の練習対局に参加する。同一時十五分からは二之丸広場で講談「藤井聡太物語」の上演や、佐藤会長と藤井六段の師匠の杉本昌隆七段（右）のトークショーがある。

佐藤会長は「愛知県の充実した普及態勢の中で藤井六段が生まれた。この大会が長く続き、子どもの登竜門になれば」と期待を込めた。大場社長も「われわれも将棋を盛り上げてゆきたい」と応じた。

各イベントは公開で、名古屋城の観覧料五百円（中学生以下、無料）が必要。

実現

02 2018年6月定例会

児童生徒の五輪・パラリンピック競技大会への参加

「児童生徒がオリンピック・パラリンピック競技大会等へ参加した場合、学校では出席扱いとすることができる」という国の通知に対し、「各学校や現場の教師にまで周知徹底する対策を行うべきではないか」と、名古屋市にご提案しました。教育委員会は五輪などに参加した児童生徒を出席扱いとする国の通知を各校に伝えていなかったことを明らかにし、「誠に申し訳ない。あらためて学校に知らせ、校長が集まる場で丁寧に説明する」と答弁をいただきました。

中日新聞
2018年6月27日

児童生徒の五輪参加

「出席扱い」と伝えず

市教委

市教委は、五輪などに参加した児童生徒を出席扱いとする国の通知を各校に伝えていなかったことを明らかにした。大村光子議員（減税）の質問に答えた。

スポーツ庁と文科省は二〇一五、一七年度、児童生徒が五輪・パラリンピックなどの大会や強化合宿への参加を出席扱いとするよう通知していた。

杉崎正美教育長は「誠に申し訳ない。あらためて学校に知らせ、校長が集まる場で丁寧に説明する」と述べた。

03 2023年9月定例会

市立高等学校での昼食提供

市立高等学校での昼食提供について、個人質問を行いました。子育て支援の一環として、名古屋市の中学校で実施されているスクールランチを高校でも提供できないかという提案を行ったところ、教育長より、高校生にとっても栄養バランスの良い食事は重要であり、民間事業者を活用した弁当提供を選択肢の一つとして検討するとの前向きな答弁をいただきました。







実現

05 2012年6月定例会

待機児童対策の小中学校の空き教室の有効活用

小中学校の空き教室の活用意向について個人質問を行い、河村たかし市長より「断固としてやる」「市教育委員会の報告を見てプロジェクトチームをつくり、学校施設は市民の財産だと言えるようにしたい」との答弁をいただきました。2019年4月に浦里小学校（緑区）の敷地を民間事業者に貸し出しました。

中日新聞
2012年6月27日

待機児童対策

空き教室活用を強調

名古屋市議会で河村市長

名古屋市議会の六月定例会は二十六日の本会議で、議員九人による個人質問を行った。保育所の待機児童対策などに役立てるため、河村たかし市長が小中学校の空き教室を活用する意向を示しているのに対し、市教委側は空き教室に関する実態調査の結果を六月末にまとめる方針を明らかにした。

空き教室の活用意向を尋ねた大村光子議員（減税、昭和区）に対し、河村市長は「断固としてやる」と三回繰り返した。さらに「縦割りの最たるものではないか」と活用が進まない現状に強い不満を示し「市教委の報告を見てプロジェクトチームをつくり、学校施設は市民の財産だと言えるようにしたい」と語った。

【広報手段の多様化】

市の情報発信手段と

実現

06 2013年6月定例会

産後ケアについて



他都市では産後ケアにすでに取り組んでいる事例が複数あり、産後ケアの重要性が高まっています。その事実を受け「産後ケアの必要性の認識」等を名古屋市に対して質問しました。子ども青少年局長からは「様々な課題や状況を踏まえ、他都市の調査を迅速にし、その上で本市として産後ケア事業全体について検討していきたい」との答弁をいただきました。しかし十分満足できる回答とは言えません。今後も子育てしやすい、妊婦さんや出産後のお母さんにやさしい名古屋を目指して活動してまいります。

07 2018年2月定例会

保育所等利用待機児童解消に向けた取り組み

特定の保育所等のみを希望するなどによって希望保育所等を利用できていない「利用保留児童数」が増加していることを指摘し、対策を市長に個人質問しました。河村たかし市長からは、「保育所の整備に、市立小中学校の活用拡大を目指す」考えを答弁いただきました。



08 2026年2月定例会

「共育て」の推進に向けた取組み

本市の子育てにおける「共育て」の推進に向けた取組みについて、個人質問を行いました。総務局長からは、パートナーとともに子育てについて考える研修プログラムの実施や、共育て推進に向けた取組の充実を図るとの答弁をいただきました。また、「名古屋市版・父子手帳」の導入について提案したところ、子ども青少年局長からは、既存の父親向けリーフレット「なごやだでぃ」の充実やなごや子育てアプリ「なごみー」の活用を進めながら、内容の充実と周知方法の工夫に取り組むとの答弁をいただきました。







09 2018年9月定例会 実現

公立保育所における紙おむつ処分



名古屋市の公立保育所では、使用した紙おむつは保護者が持ち帰ることとなっていることについて、「公立保育所にて紙おむつを処分する対応の見直し」をご提案しました。子ども青年局長からは、「他都市の事例を早急に把握し、検討したい」と答弁をいただきました。

中日新聞
2018年9月21日

市立保育所での紙おむつ処分検討

保護者が持ち帰ることになっている市立保育所での紙おむつの処分方法について、市は保育所での処分について検討を始める。大村光子議員（減税）の質問に方針を示した。

公立保育所では、保護者が用意した紙おむつを使い、使用後はその日に持ち帰ることになっている。紙おむつを確認することで、子どもの健康状況を把握できる一方、保育所での処分を望む声もあるという。大村議員は使用済みのおむつを持ち歩かなくてはいけない保護者の負担を指摘した上で、「おむつを預児ごとに仕分けて管理する保育士の負担も大きい」と強調した。

おむつを保育所で処分するためには、処分費用の負担や置き場所の確保、衛生的に保管する方法などの課題がある。海野稔博・子ども青少年局長は「他都市の事例を早急に把握し、検討したい」と述べた。



メ～テレ「UP!」
2018年9月21日

10 2023年2月定例会 実現

公立保育所における おむつのサブスク



「公立保育所におけるおむつのサブスク」について、個人質問を行いました。一定料金を払えば、保育園の登園時に紙おむつの持参が不要になるサービス「おむつのサブスクリプション」について、市は令和5年度に一部の公立保育園でモデル事業として実施する方針を示しました。

中日新聞
2023年3月6日

おむつサブスク モデル事業実施

一部公立保育園で

一定料金を払えば、保育園の登園時に紙おむつの持参が不要になるサービス「おむつのサブスクリプション（サブスク）」について、市は二〇二三年度に、一部の公立保育園でモデル事業として実施する方針を示した。六日にあった市議会二月定例会本会議で、大村光子議員（減税）の個人質問に答えた。

市保育運営課によると、モデル実施に先立ち、まずは各種課題の把握、整理を行う。例えば各園におけるおむつの保管方法、在庫管理や発注作業による保育士への業務負担など。その後、市内の公立保育園八十七園（二三年度）のうち、一部で試行する。

同課の担当者は、おむつサブスクが、保育園を利用する保護者の負担軽減につながると期待。一方で「保育士の手間が増え、子どもに向き合う時間が減ることは親御さんも望まないと思う」と慎重な姿勢も見せ、「検討しながら進めたい」と話した。

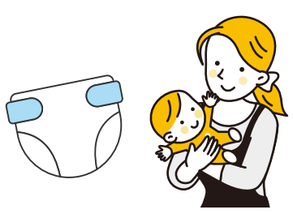
（高田みのり）

11 2025年6月定例会 実現

公立保育所におけるおむつのサブスクモデル実施の提案



「公立保育所におけるおむつのサブスク」について、個人質問を行いました。保育園に通う子どもの紙おむつやおしりふきを定額で使い放題にするサブスクリプションサービスについて、市から市立の保育園で令和7年度中の本格導入を目指すとの答弁をいただきました。



市職員ベースアップ

職員の採用や環境改善で名古屋市の力を高める

01 2024年6月定例会 実現

市職員の採用強化



名古屋市職員の採用強化について質問し、人事委員会は適性検査の能力試験導入や経験者採用の拡充を検討すると答弁しました。私は、多様な人材との出会いを広げ、将来の市政を担う人材の確保を要望しました。

中日新聞 2024年6月26日

市職員採用に「社会人枠」

新年度新設 受験年齢は26～39歳

民間適性検査も導入



02 2025年6月定例会 実現

市職員採用試験での適正検査の導入



「名古屋市職員採用試験への適性検査の導入の検討状況」について個人質問をしました。人事委員会からは、「適性検査のうち能力検査は、導入効果について調査中。従来の試験にとらわれることなく、今後も不断に試験制度を改善していくことが必要であると認識し、採用試験を実施していきたい」との答弁をいただきました。その後令和8年度より導入が決定しました。

中日新聞

市職員採用試験

適性検査導入を検討

市によると、大卒程度試験の受験者数は13年度に3224人だったが、近年は2千人を割り込み、減少傾向にある。22年度以降、プレエントリーシートを導入するなどの取り組みを進めた結果、23年度は3418人に増加した。

市側は「優秀な人材の安定確保には不断に試験制度を改善する必要がある」と説明し、適性検査の導入は「人材を呼び込む効果が期待できる新しい取り組み」と答えた。

一部の民間企業や他都市が採用試験で取り入れている。大村光子議員（減税）の質問に答えた。

03 2020年2月定例会 実現

男性職員の育児休業等の取得

男性職員の育児休業取得促進について質問しました。女性職員の育休取得率が100%である一方、男性職員は10%にとどまっている現状を踏まえ、取得率向上だけでなく取得期間の拡大や、育休を取得しやすい職場環境づくりの必要性を訴えました。また、他都市の先進事例を紹介しながら、取得状況の見える化や管理職の意識改革、組織全体での働きかけを提案しました。総務局長からは、次期プログラムで取得率・取得期間ともに目標を引き上げるとともに、上司による働きかけや情報提供の充実、実績の見える化などに取り組む方針が示されました。さらに市長からは、希望する職員が育児休業を取得できる職場風土の実現に向け、「男性育休100%宣言」が表明されました。

男性職員の育児休業取得率の目標が100%になりました

名古屋市職員の女性活躍・子育て支援プログラムに、男性職員の育児休業取得率100%を目指す目標が盛り込まれました。

計画期間	令和7年～令和11年





中日新聞
2020年3月6日

「男性の育休取得100%に」

希望者、1日以上 部署実績可視化も

市議会 個人質問

名古屋市議会二月定例会は五日、本会議を再開し、九議員が個人質問をした。

男性市職員の育児休暇の取得率について、河村たかし市長は「希望する職員が100%取得できること」を目指す」と宣言した。市当局も、部署ごとの実績を可視化するなどして取得率の向上に取り組む考えを示した。（谷悠己）

市によると、昨年度に子どもが生まれた男性市職員の中で十日間以上の育児休暇を取得した人の割合は10%。本年度末までが計画期間の「市職員子育て支援プログラム」で掲げた目標値は達成した。だが、政令市の中で昨年度の取得率が最高で、熊谷俊人市長が「育休を取ると上司」を意味する「イクボス」を宣言している千葉市の34・3%からは大きく離されている。

大村光子議員（減税）に今後の目標を問われた河村市長は「男が子育てに協力するのはどえらいええこと。一日でもええので、100%、誰もが必ず取得できるように取り組むことを宣言させていただきます」と述べた。この「100%」は、育休を希望する職員全員が少なくとも一日以上取得できるようにすることを意味し、市がプログラムで掲げた取得率とは計算式が異なるという。

市は次期プログラムを策定中で、本年度中に公表する方針。市総務局の担当者は「取得率の目標値も、取得率の分子となる育休の取得日数も引き上げることを検討している」と話す。

新しい取り組み

先進的なアイディアで暮らしやすい名古屋市へ

実現

01 2017年6月定例会

地下鉄駅への宅配受け取りロッカー設置

個人質問にて、「地下鉄駅への宅配受け取りロッカー設置」をご提案しました。その結果、2019年3月中旬頃、名古屋市営地下鉄桜通線「徳重駅」から宅配受け取りロッカーの設置が開始しました。



実現

02 2022年9月定例会

災害時におけるドローン活用

大規模災害時には、医薬品の輸送が一刻を争う事態も想定されます。こうした有事に備え、各地ではドローンを活用した医薬品配送の実証実験が進められています。そこで本市においても、災害時の医薬品配送手段としてドローンの活用を検討し、実証実験に取り組むことを提案しました。河村たかし市長からは、「救急搬送しても、薬が届いていないのでは意味がないので、すぐに実証実験に入るよう指示する」との答弁をいただきました。

中日新聞
2022年9月17日

災害時の医薬品搬送
ドローン実証実験へ
市が取り組む方針

災害時に道路網が寸断される事態を想定し、市は医薬品の運搬にドローンを活用するため、実証実験に取り組む方針を明らかにした。大村光子議員（減税）の質問に答えた。

大村議員は「医薬品の輸送は一刻を争う場合も想定され、各地でドローンを活用する実証実験が実施されている」と指摘。「選択肢として準備、訓練をしておくことが必要だ」と求めた。河村たかし市長は「救急搬送しても、薬が届いていないではいかん。すぐに実証実験に入るよう指示する」と答弁した。

市は災害時に使用する医薬品の備蓄を市薬剤師会に委託。市内百十カ所の薬局で保管しており、薬剤師が車やバイクなどで医療救護所に運ぶことを想定している。市は今後、民間企業との連携も視野に、ドローンによる運搬の可能性を探る。



03 2018年6月定例会

ドローン研究開発に関する企業への支援

ドローンの研究開発に関わる企業に対する、名古屋市の支援について個人質問を行いました。市民経済局長からは「現在は、ドローンに関する情報共有に努めている。様々な課題があるが、企業から相談があれば、関係機関とのマッチングを図っていきたい」との答弁をいただきました。



04 2019年9月定例会

eスポーツを活用した観光施策の推進

名古屋市に対し「eスポーツを活用した観光施策」について質問し、「コスプレサミットに匹敵するようなeスポーツの聖地をつくる」ことをご提案しました。観光文化交流局長からは、「国や他都市、さらに民間企業等の動向を注視しつつ、本市の魅力向上や誘客などの施策にeスポーツをどう活用していけるのか検討したい」と答弁をいただきました。



実現

05 2017年6月定例会

クレジットカード決済による寄附の促進

個人質問にて、「手軽なクレジットカード決済による寄附の促進」をご提案しました。市からは「クレジットカード決済による寄附促進へ向け、手続きを簡略化し、即時に寄附できるシステムづくりを検討する」旨を答弁いただきました。その結果、寄附金額が1,000円以上の場合にはクレジットカード決済による寄附ができるようになりました。

中日新聞
2017年6月24日

カード決済寄付
手続き簡略化へ
市がシステム検討

市はクレジットカード決済による寄付促進へ向け、手続きを簡略化し、即時に寄付できるシステムづくりを検討する考えを明らかにした。大村光子議員（減税・自由）の質問に答えた。現状では寄付を希望する人は、市とメールで申込書などをやりとりする必要があり、手続き完了までに数日かかる。飯田貢財政局長は「利便性向上のため、早期に検討したい」と答弁した。



実現

06 2015年9月定例会

無人航空機の研究開発

個人質問にて、名古屋市が整備を進める先端技術研究の拠点「なごやサイエンスパーク」（守山区）を小型無人機「ドローン」開発地として利用することをご提案しました。市民経済局長からは「課題もあるが、市内にドローンの研究開発拠点ができれば次世代産業の大きな柱になる」と前向きな答弁をいただきました。

中日新聞
2015年9月18日

守山にドローン開発拠点
市が前向き姿勢

名古屋市が整備を進める先端技術研究の拠点「なごやサイエンスパーク」（守山区）を小型無人機「ドローン」開発の地に―。本会議での大村光子氏（減税）の提案に、市側は「いくつかの課題はあるが、可能性を探りたい」と前向きな姿勢をみせた。

ドローンは、大規模施設の保守点検や測量などで活躍し、有望な次世代産業として開発が進む。一方、相次ぐ落下事故で飛行規制が強化。開発企業にとって、試験飛行ができる広大な用地の確保が課題になっている。このため、県が八月、知多市の新舞子沖に浮かぶ人工島「名古屋港南5区」と西尾市の「矢作川浄化センター」隣接地に試験飛行場を新設するなど、各自治体が支援を進めている。

大村氏は「テスト飛行場を併せ持つ専門の研究施設の誕生を求める声もある」と指摘。産官学連携拠点施設などがあるサイエンスパークでの研究施設の開設を提案した。

市次世代産業振興課によると、サイエンスパークで試験飛行場を設置できる可能性があるのは、公的研究機関が集まるAゾーンの市が所有する「研究開発センター」の敷地（約三・二万平方㍍）内。ただ、すでに共同研究棟や理化学研究所棟などが立ち並び、敷地が限られている。近くに住宅地もあるため、地元との調整などの課題も多い。

答弁で菅村喜明・市民経済局長は「課題もあるが、市内にドローンの研究開発拠点ができれば次世代産業の大きな柱につながる」と述べた。（北村剛史）

観光

名古屋市の魅力を世界へ発信

01 2016年10月,12月 経済水道委員会

名古屋城天守閣木造復元



名古屋城天守閣の木造復元に関し、
大村光子の経済水道委員長としての活動が新聞やテレビで報道されました。

中京テレビ情報番組「キャッチ」
「政治の現場 実は○○」のコーナー
2016年10月6日





東海テレビ「みんなのニュースONE」



NHK「ニュース845東海」



中京テレビ「キャッチ!」

中日新聞 2016年10月13日

議会「議論を」市長「結論を」

再び継続審査 復元予算 先見えず

名古屋城天守閣の木造復元構想の関連予算は十二日、市議会九月定例会で、六月定例会に続き継続審査となった。結論は再び持ち越され、事業スタートも完成時期も明確に見えないまま。「議決されないので進まない」と結論を求めて専決処分に言及する河村たかし市長に対し、市議会からはあくまで議論を続けて可否を判断すべきだという声が上がった。

本会議の採決で、基本設計費など約十億円の補正予算案の継続審査に、自民、民進、減税日本が賛成し、もとも公明と共産は反対した。

採決に先立ち、所管する経済水道委員会の大村光子委員長（減税）が審査経過を報告。市長が完成期限を二〇二〇年七月から二年繰り延べるなどとした議案を、審議時間が残り少ない今月六日になってから示したことを挙げ、「詳細に検討して判断すべきで議決できる状況ではない」と継続審査の理由を説明した。

反対討論した江上博之氏（共産）は、優先交渉権者を竹中工務店としたまま、完成期限を変更する市長の

02 2012年2月定例会

名古屋市旧町名の復活事業の推進

名古屋市内の旧町名の復活をめぐり、地元の飲食店経営者らが有志の会を結成。鉄砲町や八百屋町、両替町といった市中心部の旧町名を挙げて、町内会への働きかけなど復活への機運を高める活動を始めました。私も旧町名の歴史的な意味や復活の意義に共感し、旧町名の復活に市が取り組むことを要望しました。河村たかし市長からは「旧町名は土地の記憶を呼び起こすどえらい大切なもの。ぜひやりたい」と答弁をいただきました。



中日新聞 2012年3月8日

旧町名の復活「大賛成」

名古屋市議会 河村市長が意欲

名古屋市議会委員会は二日の本会議で、議員の発案による「旧町名を復活させる条例」を審議した。旧町名復活を目指す動きに、河村たかし市長は「旧町名は土地の記憶を呼び起こすどえらい大切なもの。ぜひやりたい」と意欲を示した。

六月定例会の一般質問で、自民党の議員が「旧町名の復活に市が取り組むことを要望する」と提案。賛成多数で採択された。

03 2014年2月定例会

実現

観光立国名古屋について

『観光立国名古屋』として「ムスリム旅行者への対応」について質問しました。東南アジアからの旅行者が増える中、イスラム教徒（ムスリム）への対応を市へ尋ねたところ、市民経済局長からは「礼拝堂やハラル（ムスリムの安全基準）フード販売店などをまとめたリストを作成している」と答弁をいただきました。また土産品への「ノーポーク」「ノーアルコール」の英語表記の必要性については「事業者への情報提供や啓発に取り組みたい」との答弁をいただきました。

中日新聞 2014年3月7日

【ムスリム旅行者への対応】
東南アジアからの旅行者が増える中、イスラム教徒（ムスリム）への対応を大村光子議員（減税）が尋ねた。宮村喜明市民経済局長は「礼拝所やハラル（ムスリムの安全基準）フード販売店などをまとめたリストを作成している」と答弁。土産品への「ノーポーク」「ノーアルコール」の英語表記の必要性について「事業者への情報提供や啓発に取り組みたい」とした。

04 2018年2月定例会

名古屋城における無料クーポン配付



個人質問にて「名古屋城にとって大きなイベントを広報なごやに掲載する際、入場料が無料になるクーポンをつける」ご提案をしました。副市長からは、「無料クーポンを配布することは市民に名古屋城に来ていただくためのきっかけづくりとしては有効な手段」として時期や方法について検討すると答弁いただきました。

YAHOO ニュース・3月2日配信

名古屋城来場者のうち名古屋市民は１割から３割 …
名古屋市が市民に入場無料 クーポン配布へ

東海テレビ

3/2(金) 17:28 配信

天守閣の木造再建に向けて話題に上ることが多い名古屋城。文字通り名古屋のシンボル ですが、実は来場者に占める名古屋市民の割合は、さほど高くありません。

名古屋市で、名古屋城を訪れるきっかけづくりとして、市民に入場が無料となるクーポン券を配布する検討を始めることになりました。

２日の市議会本会議で、**減税日本の大村光子市議**の質問に対し、鷹津一郎副市長は「無料クーポンを配布することは市民に名古屋城に来ていただくためのきっかけづくりとして は有効な手段」だとして、時期や方法について検討すると答弁しました。

昨年度にはおよそ 192 万人が訪れた名古屋城ですが、名古屋市民の割合は、調査によってバラつきがあるものの１割から３割程度と低いのが実情です。

天守閣の木造再建後には年間 360 万人の来場を目指す名古屋市は、まずは市民に名古 屋城の魅力を知ってもらい、誘客に協力してもらう必要があると判断しました。

今年５月７日からは、木造復元に向けた調査や工事のため、天守閣への入場が禁止され る予定で、無料クーポンの配布は木造天守閣完成までの入場者の落ち込みを抑える役割も担うことになりそうです。

05 2019年9月定例会

フードダイバーシティへの対応

インバウンド施策における、フードダイバーシティへの名古屋市の対応について個人質問しました。観光文化交流局長からは、「世界の多様な食のニーズに合わせたきめ細やかな対応が必要だと認識している」「訪日外国人向けアンケートの実施や飲食事業者などに意見を伺いながらインバウンドにおけるフードダイバーシティに目を向けて検討していきたい」といった旨の答弁をいただきました。



中日新聞 2019年9月19日

ムスリムや菜食主義
ニーズ把握へ勉強会
来年度中にも開催

名古屋市は、ムスリムや ベジタリアン（菜食主義者）などの食に対応するため、外国人観光客の食に関するニーズを把握し、飲食店と情報共有する勉強会を来年度中にも行う方針を示した。大村光子議員（減税）の質問に答えた。

市によると、二〇一七年の訪日外国人観光客の市内での宿泊者数はのべ約百七十万人。このうちムスリムが多いインドネシアやマレーシアからの旅行者は全体の約3%にとどまるが、増加傾向にある。

市は名古屋城に近接する飲食店街「金シャチ横丁」で外国人に、原材料表示を望むかなど食に関するアンケートをとり、「名古屋めし」を提供する飲食店に情報提供する。松雄俊憲観光文化交流局長は「旅行会社や飲食事業者の意見もうかがいながら具体策を検討したい」と答えた。

大村議員は、市として食の多様性に取り組む「フードダイバーシティ都市宣言」を行うことも提案した。

06 2026年2月定例会

「ドネーションガチャ」による新たな寄附の仕組み

楽しみながら社会貢献ができる民間型「ドネーションガチャ」による新たな寄附の仕組みについて、個人質問を行いました。「ドネーション」とは「寄附」や「贈り物」を意味し、誰かのためにお金や物品、サービスなどを無償で提供する行為を指します。若年層やインバウンド層も参加できる「少額・高頻度型」の寄附モデルとして、寄附とガチャを組み合わせた仕組みを提案しました。財政局長からは税外収入確保の手法の一つとなり得るとの答弁、観光文化交流局長からは観光プロモーションとしての可能性や制度活用の検討について前向きな答弁をいただきました。








福祉

誰もが安心して暮らせる福祉のまち名古屋市へ

01 2014年12月定例会

聴覚障がい者福祉





『手話条例（仮称）』について個人質問を行いました。また議会で聴覚障がい者福祉に関する質問をするにあたり、手話で「こんにちは。私は大村光子です。よろしくお願い致します」と挨拶をしました。「たったそれだけ?」と思われるかもしれませんが、聴覚障がい者の方々には手話普及の一歩となると喜んでいただきました。

02 2023年2月定例会

「みんなの冷蔵庫」を活用した取り組み



食品ロス削減と生活困窮世帯支援を両立する「みんなの冷蔵庫」の活用を提案しました。これは、寄附された食品を必要な方が匿名・非対面で受け取れる仕組みです。健康福祉局長からは、食の安全確保を前提に、民間団体への助言や補助制度を通じた支援を進めるとの答弁をいただきました。また環境局長からは、市による直接運営には課題があるものの、フードドライブ拡大への協力を継続するとの答弁をいただきました。

その他にもこんな活動をしています！

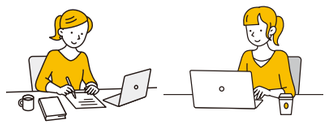
地域の声に耳を傾け、暮らしに寄り添う活動を

01 2017年9月定例会

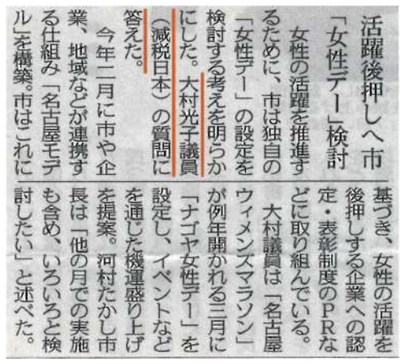
本市における女性の活躍促進



個人質問にて、2017年3月8日の「国際女性デー」と、来年3月に市内で開かれる「名古屋ウィメンズマラソン」に合わせ、「名古屋女性デー」を設定し、女性の活躍推進などをテーマとしたイベント開催をご提案しました。河村たかし市長からは、女性の活躍を推進する機運を高めるため、市独自の「女性デー」を設定する考えや、「他の月でも実施できるように検討する」との答弁をいただきました。







活躍後押しへ市
「女性デー」検討
女性の活躍を推進するために、市は独自の「女性デー」の設定を検討する考えを明らかにした。大村光子議員（減税日本）の質問に答えた。
今年二月に市や企業、地域などが連携する仕組み「名古屋モデル」を構築。市はこれに基づき、女性の活躍を後押しする企業への認定・表彰制度のPRなどに取り組んでいる。
大村議員は「名古屋ウィメンズマラソン」が例年開かれる三月に「ナゴヤ女性デー」を設定し、イベントなどを通じた機運盛り上げを提案。河村たかし市長は「他の月での実施も含め、いろいろと検討したい」と述べた。

中日新聞 2017年9月20日



「女性デー」創設
河村市長が検討
名古屋市の河村たかし市長は19日、女性の活躍を推進する機運を高めるため、市独自の「女性デー」を設定する考えを示した。
市議会一般質問で大村光子市議（減税）が、3月8日の「国際女性デー」と、来年3月に市内で開かれる「名古屋ウィメンズマラソン」に合わせ、「ナゴヤ女性デー」を設定し、女性の活躍推進などをテーマとしたイベント開催を提案した。河村市長は「他の月でも実施できるよう検討する」と答弁した。【三上剛輝】

毎日新聞 2017年9月20日

02 2015年8月 安田交番存続のために尽力

実現

2015年8月30日開催の『大村光子ミニ集会』に川原学区の皆さんが参加し、安田交番がなくなるという話が出ている件のご相談をいただきました。
そこで2015年9月30日に、安田交番の件で河村市長へ学区代表者5名の方々と陳情。その結果、安田交番の存続が決定！

平成27年、みなさまの声により…

安田交番の存続が決定し
皆様に喜んでいただきました

○8月30日（日）開催の『大村光子ミニ集会』に川原学区の皆さんが参加
安田交番の件をご相談いただく



8月30日ミニ集会の席にて

○9月30日（水）
安田交番の件で河村市長へ陳情



9月30日市長室にて

○11月1日（日）
川原コミセン祭りにお招き頂き、皆様に挨拶



コラム

川原コミセン祭りにお招き頂き、皆様にご挨拶させていただきました

今回、微力ながら　安田交番存続のお役に立てましたことを、大変うれしく思っております。
川原学区内では、上記のようなチラシも各戸にご配布いただいたようで、
学区内、隣接区域、各方面の方々から安どの声をいただきました。



11月1日の川原コミセン祭りにて

03 マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知



「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」を盛り上げるために、4年に渡って質問をしました。

質問に向けて取り組んだこと	参加者へのアンケート調査（自主調査）	男子フルマラソン	応援イベントの充実	おもてなし応援隊	参加者へのアンケート調査	アンケート要望① トイレの充実	アンケート要望② 会場のわかりやすさ	アンケート要望③ 参加賞の充実	アンケート要望④ コースの充実	名古屋シティマラソン エントリー方法
第1回目（2011年3月）	○ 62人	実現に向けて提案	実現に向けて提案		実現に向けて提案	仮設トイレの増強を提案		参加賞の数を増やす提案		抽選から先着順へ提案
第2回目（2012年9月）				おもてなし応援隊が高評価	○	○	ドーム内ランナーの導線改善を提案	△		○
第3回目（2013年9月）	○ 133人			★		○	○	★	2つのコース案を提案	抽選
第4回目（2014年12月）				★				★ 名古屋ウィメンズマラソンが最高位の「ゴールド」に昇格!		抽選
結果	自主的取組で実施	×	提案継続中	自主的取組で実施	今後の実施は未定	改善	提案継続中	自主的取組で挽回	提案継続中	